

沿岸養殖通報(第10報:最終)

【種がき 平成22年8月17日】

宮城県水産技術総合センター 東部地方振興事務所水産漁政部
宮城県漁協各支所青年部・研究会

本日、種がき浮遊幼生調査を実施しましたので結果をお知らせします。試験連への付着状況及び研究会による調査結果をお知らせします。

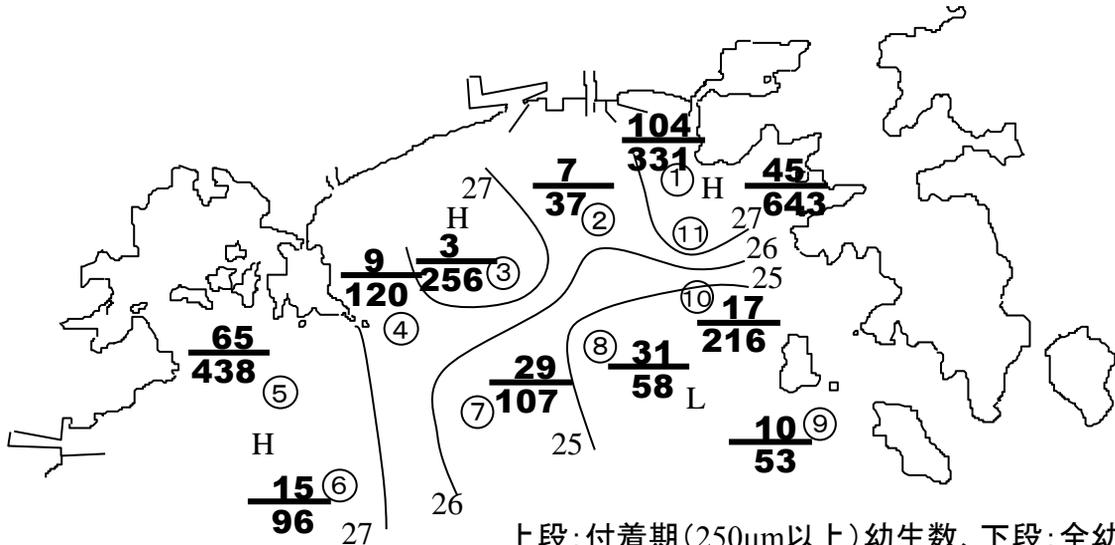
[概況]

1. 石巻湾の表面水温は24.9~27.6℃, 比重は12.8~27.6でした。
2. 沖合の多くの調査点で殻長250μmを超える大型幼生が数十個/100L観察されています。また石巻湾奥のSt.1では殻長250μmを超える大型幼生が104個/100L観察されています。ただし、全ての地点で全幼生数は数十個~数百個/100Lにとどまっています。
3. 研究会による調査では、石巻湾支所の地先で殻長250μmを超える大型幼生が数十個/100L観察されています。
4. 原盤の投入が概ね終了したため、本通報をもって今年度の最終とします。

▼カキ浮遊幼生の出現状況調査結果

H22 8月17日 9:06~11:30 晴れ

調査点	表層水温(°C)	比重(σ 15)	透明度(m)	サイズ(μm)別幼生数(個/100L)					合計
				<100	100~150	150~200	200~250	250<	
1	27.4	22.3	4.5	0	82	43	102	104	331
2	26.2	12.8	1.5	1	10	13	6	7	37
3	27.6	17.2	3.0	210	27	5	11	3	256
4	26.9	15.0	2.5	86	15	7	3	9	120
5	27.6	21.8	3.5	307	16	8	42	65	438
6	27.3	20.7	5.0	44	16	13	8	15	96
7	25.6	21.7	9.5	5	4	26	43	29	107
8	24.9	26.6	24.0	3	0	3	21	31	58
9	24.9	27.6	19.0	5	11	9	18	10	53
10	24.9	26.1	13.0	38	99	42	20	17	216
11	27.6	23.9	8.0	112	243	154	89	45	643



上段: 付着期(250μm以上)幼生数、下段: 全幼生数

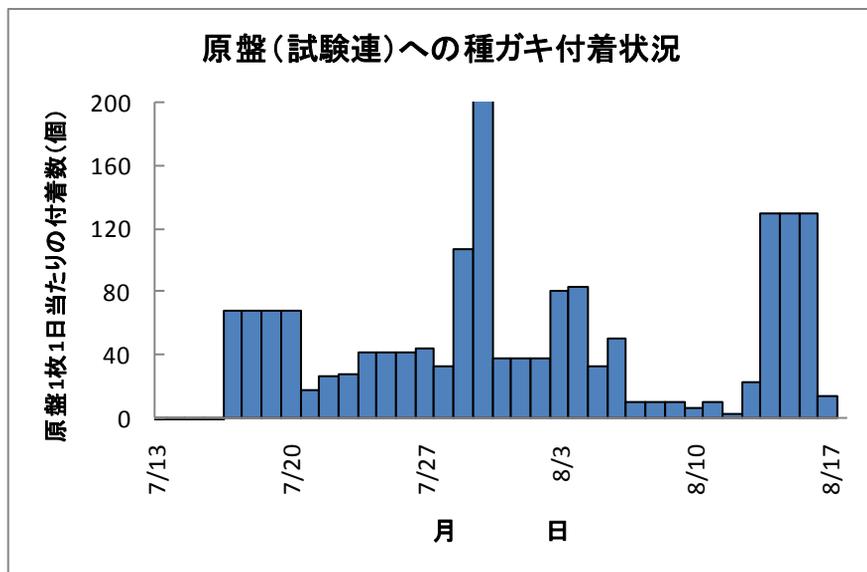
▼研究会による調査結果

観測研究会	調査点	月日	水温 (°C)	比重 (σ 15)	サイズ(μ m)別幼生数(個/100L)					合計
					<100	100~150	150~200	200~250	>250	
石巻東部	富貴浦前	8月13日	20.0		20	10	3	0	0	33
	鹿立前	AM:7:00	20.0		70	50	10	0	0	130
石巻湾	松前	8月15日 AM:6:30	23.0	23.0	40	50	70	12	10	182
	基幹濤		23.5	23.1	30	80	40	20	10	180
	尾崎		25.0	19.5	80	100	50	8	12	250
	生草		24.5	22.4	50	200	50	7	3	310
	新免4号(沖)		25.0	21.5	50	40	20	40	30	180
	新免4号(岸)		24.8	22.5	10	50	20	30	40	150
	長浜(東)		25.2	22.6	50	20	30	20	10	130
	長浜(西)		25.0	21.5	40	20	20	8	12	100
石巻湾	松前	8月16日 AM:7:30	24.0	23.3	40	20	30	5	7	102
	基幹濤		25.0	23.6	30	20	35	4	3	92
	尾崎		25.5	22.7	80	55	40	3	5	183
	生草		25.5	22.7	70	40	50	7	7	174
	新免4号(沖)		25.0	12.4	30	30	50	15	25	150
	新免4号(岸)		25.0	17.5	100	30	50	15	20	215
	長浜(東)		26.0	22.9	40	10	30	30	20	130
	長浜(西)		26.0	20.8	30	20	20	20	20	110

○研究会の調査結果

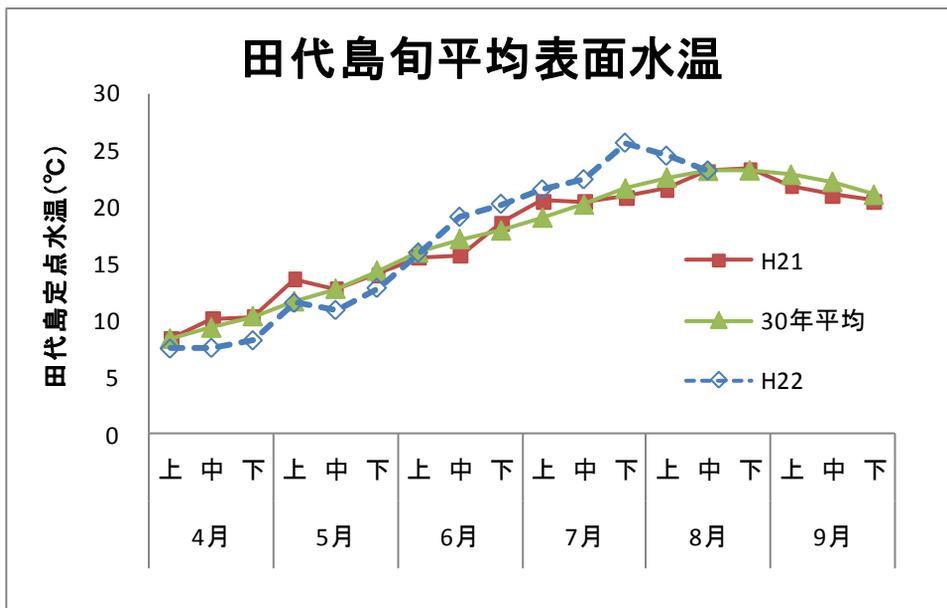
研究会による調査では、石巻湾支所の地先で殻長250μmを超える大型幼生が数十個/100L 観察されているが、全体的に幼生数は減少傾向となっている。

▼試験連への付着状況



○ 佐須浜のセンター試験連では、8月13日は原盤1枚1日当たり23.0個、14~16日の間は130.1個と台風通過後は増加したが、17日は14.4個と減少した。

▼水温の動向



○田代島定点の旬平均水温(表層)

8月上旬までは高めで推移したが、8月中旬は平年並みとなっている。

▼東北地方の1ヶ月予報(8月13日仙台管区气象台発表)

東北地方

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。向こう1か月の気温は、高い確率が60%です。週別の気温は、1週目は高い確率が80%、2週目は高い確率が50%、3~4週目は平年並または高い確率がともに40%です。

[連絡事項]

1. 大型幼生は一部で出現しているものの、全体的に幼生が少なくなっています。今後採苗を予定されている場合は、幼生の出現動向を見極めて採苗を行って下さい。
2. 本通報の内容は当センターのホームページ<http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/>でもご覧になれます。
3. 今回をもちまして本年度の種がき通報を終了させていただきます。各研究会の皆様、地先での浮遊幼生情報の提供ありがとうございました。